

2D4

科学技術政策研究所 (NISTEP) における
国際研究交流活動

○尾藤 隆 (科学技術政策研究所)

1 運営の基本方針

「柔軟かつ対外的に開かれた研究体制」

2 研究交流のタイプ

- (1) 組織間の公的取決め (書簡交換)
- (2) 研究者間の Academic collaboration
- (3) 研究者の派遣・受入れ
- (4) 国際コンファレンスの主催
- (5) その他 (所内講演・セミナー等)

3. 書簡交換に基づく研究交流

- (1) 米国国立科学財団 ('88.12月)
- (2) " ハーバード大学 J.F.K School ('89.2月)
- (3) " MIT ('89.6月)
- (4) 英国 イティンバラ大学 (")
- (5) " サセックス大学 科学政策研究所 (SPRU) (")
- (6) 米国 オクラホマ大学 ('89.12月)
- (7) ドイツ、フ라운ホーファー協会 システム・技術革新研究所 (ISI) ('90.2月)
- (8) 米国 北イリノイ大学
- (9) " シラキューズ大学
- (10) 中国 科学技術協会 管理科学研究センター
- (11) 韓国 科学技術院 科学技術政策研究評価センター (CSTP)

等

4. 研究者の派遣・受入の実績

(1) 派遣

- フラウンホーファー協会 ISI “国家プログラム(宇宙開発)の動学的研究”
- NSF “ST指票に基づく日米比較”

(2) 受入

- NSF 2人
- バッティル記念研究所 1人
- MIT 1人
- サセックス大 SPRU 1人
- ティフト技術大 1人
- イタリア政府研究委員会 1人
- 瑞ルフト大 1人
- 韓国 CSTP 2人
- 中国 管理科学研究センター 1人

現在(90年10月) 7人.

5. 所内講演会、国際会議出席、来訪者等 (89年度)

	88/7 ~ 89/6	89/7 ~ 90/5
来訪者(海外)	34件	37件
セミナー講演	12件	11件
国際会議出席	8件	14件

6. 国際コンフェレンス

90年2月20-4日

伊豆下田

(目的)

国際的ネットワークの構築

内外の研究成果の普及

今後の中長期的研究課題の究明等

(テーマ) Science & Tech. Policy Res. — What should be done?
What can be done?

(参加者)

日本を含め 14ヶ国 2国際機関 計 146名

(概要)

今日の科学技術政策研究概観

R&D構造, 技術革新, 技術移転

科学技術の国際化

科学技術活動の測定

政策研究, 今後の優先課題